

## 菊池隆さん

⑥

釜石市の平田第6仮設団地は、入居者の孤立など懸念される課題に対応しようと県や釜石市のほか大学やNPO法人が連携した「コミュニティケーア型」として整備された。いわば「仮の街」をつくるというモデル事業でもあった。

支援団体や、政府、国会議員の視察団が入れ代わり立ち代わり訪れた。外部との交渉を担う自治会活動も活発だった。役員は最大時で15人。イベントのテント設営などに積極的に関わっていた菊池隆さんは、役員の一人在任するのに伴い後任に推

## 自治会役員、活動は多岐に

団地内にあるコミュニティカフェ「みんなの家」で入居者らと語り合う菊池隆さん(左から2人目) 2014年10月、菊池さん提供



挙された。「ほかにやる人がいないのであれば」と2012年11月、事務局長に就任した。入居者に生活情報を伝える自

治会報の発行やイベントの企画、来訪者対応、ごみ集積所の管理から団地の草取りまで、活動は多岐に及んだ。楽ではなかったが「支援の恩返しになるなら」と取り組んだ。

朝は入居者へのあいさつから。団地内の巡回を地道に続けると、声をかけてくれるようになった。

部屋にこもりがちなたちを外へと出てきてもらうため、炊き出しイベントでは直接来た人のみにふるまうという工夫も重ねた。中高年男性をいかに引き張り出すかが、コミュニティ活動の力ぎを握っていると、強く実感した。

(斎藤徹)